

大学から見た、インプラント手術のトラブル

宗像 源博

神奈川歯科大学附属病院口腔インプラントセンター



これまで、all-on-4 に代表される即時荷重や抜歯即時埋入、オープンバリアテクニックによる GBR や骨移植を用いないサイナスリフト、審美治療における軟組織移植術、顎堤の温存を目的としたソケットプリザベーション、ピエゾサージャリーによる低侵襲治療等の華やかな外科手技および外科器具がトピックスとして挙げられ、エビデンスが不足した臨床先行のインプラント治療が様々な講演会や学会等で謳われていたが、昨今の日本におけるインプラントのトピックスは、書籍等を見てもわかる通りトラブルシューティングであることは言うまでもない。本セッションでは外科のトラブルを中心に、日本の現状と問題点についておもしろおかしく解説する。

略 歴

1999年 東京医科歯科大学歯学部卒業
 2001年 東京医科歯科大学附属病院インプラント外来 医員
 2006年 山梨大学医学部口腔外科学講座 助教
 2009年 東京医科歯科大学インプラント・口腔再生医学分野助教
 2013年 神奈川歯科大学附属病院咬み合わせリエゾン診療科 講師
 2014年 神奈川歯科大学附属病院口腔インプラントセンター
 センター長 准教授
 2017年 愛知学院大学歯学部高齢者歯科学講座 非常勤講師

現在の役職及び所属学会 等

・日本口腔インプラント学会 専門医 指導医 施設長
 ・日本顎顔面インプラント学会 指導医 施設長
 ・日本歯周病学会会員
 ・日本補綴歯科学会会員

memo